はじめてのほしゅう校

W校　二年四組

やす田　けい

ぼくは七月に二ューヨーク
にひっこして来て、八月
から二ューヨークほしゅう
校に通っています。ほしゅ
う校では、後ろのべんきょ
うがはじまりました。国語
では、長い文しょうを読ん
だり、むずかしいかん字を
書いたりしています。さん

12×12

数では、かけざんとわりざんがはじまりました。ぼくはとくにかん字をきれいに書けるようにがんばっています。ぼくは、まだだれもとったことがない花丸百点を二回とりました。先生からえてとてもうれしかったです。今どは五回つづけて花丸百点がとれるようにいっぱいべんきょうします。

12×12

ほしゅう校の休み時間には先生も一しょに女子たい男子でドンジャンケンをして遊びました。男子チームはぼくが一点、べつの友だちが二点入れて、女子チームは一点いれました。一たい三で男子チームがかちました。とても楽しかったです。

図書かんに行って本をかりることも楽しいです。一

僕がすきな本は、ドラえもんシリーズやなぞなぞクイズシリーズで、ふたシリーズです。「あしたぶたの日ぶた時間」では、しゃ人こうののりやすくんが新聞に書いたことが、つぎの日に本当になってしまったのでびっくりしました。たとえば、ぶたをつかまえる時間になったら、れいぞうこやとだなからぶたがブ

ブー出てくるところがわら。てしまいました。ぼくだ。たら、新聞にねずみやりすのことを書いて、つぎの日に本当になったらおもしろいなと思います。

ぼくはほしゅう校が楽しいです。毎週がんばって三年生を目ざします。

わたしのいとこ

W校　二年四くみ

奥村　理央

わたしにはいとこが二人います。きょ年生まれたので一才です。う、たごの男の子です。名前は、友ひろと文ひろです。友がおにちゃんで文がおとうとです。顔も体の大きさもちがいます。

「二つのおへやでそだったからちがうのよ。」

とおかあさんが言いました。

おにいちゃんの友ひろは体も大きくて、よく食べてど。しりしています。おとうとの文ひろは、体は小さいけれど色いろなものにきょうみがあって、よくうごきます。

日本にわたしがフェイスタイムで電話をかけると、さいしょにきづくのが文ひろだそうです。友ひろは、

となりでニコニコわらっています。二人ともわたしの顔を見て、ゆびをさして「アーッアーッ」。と言います。とてもかわいくて、うれしくなります。まだママとパパとパフパフとワンワンしか言えません。つぎに日本で会ったら、おとよんでくれるか楽しみです。

わたしは、いもうとがー

人いますが、あまり会えないからいとこの方がかわいいです。また会いたいです。

12×12

けんていでうかった

W校　二年四組

伊藤えま

一時帰国をした時、日本の小学校に行きました。プールの時間、自分の目ひょうができました。学校のプールできゅうをもらうことです。それがきっかけで、二十五メートルおよぐれんしゅうをなん回もして、足をつかないでおよげるようを

12×12

になりました。

わたしは、ここまでなん回もおぼれてしまいました。でも、わたしの父は水えいの先生だったので、父がわたしにおよぎ方を教えてくれました。市えいプールでなんどもれんしゅうをしました。父がいた時は、父といっしょに行きました。父がいない時は、母といっしょに行きました。

　わたしは、父とばた足のれんしゅうをたくさんしてきました。いつも頭を水につけておよいでる時、プールのそこが足がつかないほどふかいと、おぼれそうだなと思っていました。

　一回目のけんていは、二十五メートルおよげると思ってうけたのに、十五メートルしかおよげなかったと分かった時、わたしはがっ

かりしました。

もう一回チャレンジしました。水中に頭をつけておよいでいる時、水の中に立っている先生の足を見て、およぐことにしゅう中しました。二十五メートルおよげたので、ものすごくうれしかったです。わたしは、早く父と母につたえたかったです。目ひょうをたっせいできてよかったです。

プール

W校　二年四組

じさわ　けんご

ぼくは今年の夏、サマーキャンプでおよげるようになりました。

二年前のぼくはプールのかべにもたれているだけでした。又ードルを三本つかってもこわかったです。きょ年の夏は日本の小学校にたいけん入学したので、学

校のプールでおよぐれんしゅうをしました。その時はビートばんをつかってれんしゅうしました。ぼくは、ビートばんなしではおよげませんでした。

今年の夏、サマーキャンプのプールで、友だちのアレックスくんがどうやったらおよげるようになるか教えてくれました。アレックスくんの前で、ためしにお

よいでみたら

「およげるようになったんだねー。

と言ってくれました。うれしかったです。ほかの友だちにも見てもらいました。

まずは手足をうごかしました。まっすぐおよぎました。

すると友だちが

「およげるんだねー。

と言ってくれました。

これからぼくはもっと長

くおよげるようになりたい

です。そしていろいろなお

よぎ方でおよいでみたいで

す。らい年はサマーキャン

プの前にプールでおよぎ方

をれんしゅうしたいです。

ぼくの大きなけが

W校　二年三組

ぼくは、バスクトウースクールパーティーに行き、プールに水ようついたら、友だちと一しょにピザを食べました。そしてピザを食べおえてからゆうぐではしったらカーブですべってころびました。そこがコンクリートだったけれど、そとなにいた。

たくなかったです。だけど口びるから、ぼたぼたとちがが出てました。ぼくはびっくりしました。多ぜいにがこまれました。おきあがって口びるをひやしました。その間口びるがいたくてなきました。校長先生も来てくれました。友だちもよこにいてくれました。友だちがとてもやさしくてうれしかったです。校長先生がき

ゆうきゅうが車としけいさつをよんでくれました。ぼくはびっくりしました。じぶんでは、そんなじゅうじゃないと思っていたがらです。そして、ぼくのきずをきゅうがいしゃたいのじんが見てくれました。車でいけばいいと言われたので、おかあさんの友だちの車でびょういんに行きました。その後は、レントゲンをと

っ
たりしました。お父さん
とお姉ちゃんがむかえに来
てくれました。もう夜にな
っていました。家に帰って
来たら、つかれてヘトヘト
でした。けがをしてから三
時間もたっていました。ぼ
くはすぐにねました。
けがをすると、とにかく
いたいし、つかれるので、
もうにどとこんなことには
なりたくないです。

12×12

チャボとの思い出

W校　二年二くみ

バンヒューゼン　アンドリュー

チャボは、日本のじいじとばあばの家にいる二十二さいのねこです。チャボはのらねこだ、たけど、チャボのママの二ヤーターンが、赤ちゃんのチャボとクロちゃんをばあばの家につれてきたから、家ねこになりました。クロちゃんはよわってて

いたから、一週間でしんでしまいました。チャボは、二十二さいまで生きていました。

チャボがわかい時、天じょうぐらい高いねこタワーをのぼっていました。

二〇一八年の夏休みに、マとぼくといもうとのエミリーで日本に行きました。

ぼくたちが行く前は、チャボは本当によわっていまし

た。でも、ぼくたちが行ったから、にげるようにかいだんを上って元気になりました。そして、ぼくたちがニューヨークに帰った後の十月三日に天国に行きました。ぼくは、天国にいるクロちゃんとチャボはあそんでいると思います。

おりょうり

W校二年二組

甲斐みらい

わたしは、おかあさんがとてもたいへんなときにおりょうりをします。まだつくれないのでおとうさんといもうとのとおねえちゃんとつくります。

一ばんつくるのがすきなのは、カレーえどんとやきうどんです。とてもつくるとてもおいしいです。

のが、たいへんだけど三人がいるからわたしもがんばります。わたしは、おりょうりがとてもすきです。とくに、いためるのがとてもすきです。

一ばん、むずかしいのはオムライスです。とくに、たまごをひっくりかえすのがとてもむずかしいです。

前につくった時に、すこしちぎれてしまいました。おお

かあさんがつくるオムライス
は、とてもきれいでちぎれてなかったです。わたしもしょう来は、おかあさんみたいにおりょうりがじょうずになりたいです。

わたしのおねえさん

W校　二年二組

じゅんしこと

「こっちゃん、あそんじゃだめ。」

という口ぐせを聞くことがあります。そう言うのは、友だちといる時だけです。

もちろん、わたしは、そのことがいやです。おかあさんに言っても、また、言います。きっとちょうしにのっ

て言って いると思います。
わたしがおかあさんに言って
いる間、わる口を言って
いるのでしょう。いろいろ
なときに、わたしのわる
口を言って、わたしをさみ
しくしようとしてるように
しか思えません。
それでも、わたしのおれ
えさんは、やさしいところ
も、たくさんあります。たと
えば、本をいっぱい読む

12×12

ので、いろいろなことを教えてくれます。おかあさんとおとうさんも知らないことともあります。それは、すごいと思います。おかあさんとおとうさんも、たまにいろいろなことをならってい ます。毎日のように新しいことを教えてくれます。

ほかにも絵日記、さく文、お話をつくる時には、いつもいてくれて、アドバイス

をしてくれます。たとえば、「ですじゃなくて、ますの方がいいと思うよ。」と言ってくれます。

いじわるな時もあるけれど、となりにいるとあん心します。

ぼくの化石は、くつ

W校　二年二組

いのとうま

ぼくは、今年の夏休みに家ぞくで山にたきを見に行きました。その山にはいろなたきがあり、そのうちの一つのたきは、近くまで歩いて行くことができました。

家ぞくはみんな、たきを見ていましたが、ぼくはた

きょり、川の中にある石が気になっていました。なぜかというと、ぼくはテレビで川の石や岩には、化石があるということを知ったのです。自分でもさがしてみたくなったのです。

ぼくは、岩のまわりや川の近くにおちている石を、一こずつたしかめました。

その時です。見つけたぞ、これは化石だと思いました。

ぼくはうれしくてたまりませんでした。そのあとも、ワクワクしながら化石さがしをして、ぜんぶで四つ見つけました。その石の中には、図かんで見た古生代に生きていた三よう虫にていもようがありました。これが、ぼくのはじめての化石はっくつでした。

ぼくはしょう来、恐竜の化石を見つけてけんきゅう

しゅ
本もの
えらせたいです。
の恐竜をよみが

12×12

楽しかった　たおまつり

W校　二年二組

平川　ゆりか

わたしは、ニューヨークのハリソンという町にすんでいます。そして、この間おまつりがありました。

ハリソンまつりでは、ハリソンにすんでいる色いろな国の人が、その国のダンスや音楽をひろうします。

わたしたち日本人は、よ

さこいおどりをひろうすることになりました。

そのため、ほうかごは公園にあつまって、何日かれんしゅうをすることになりました。何日かれんしゅうすると、おどりが少しずつ上手になっていき、おどることにもじしんがもてるようになってきました。それに、れんしゅうの後は、友だちとあそべるのがうれしかっ

たです。公園のちかくに森があって、友だちが、
「森に入ってみない？」
と聞いてきたので、
「いいよ！」
と言って、みんなでたんけんをしました。新しい友だちも出来て、おどりのれんしゅうがいつも楽しみでした。
いよいよ本番の日です。すごく心ぞうがドキドキ

していました。でも、ゆかたをきたら、ドキドキしていた気もちがとんで、ワクワクする気もちにかわりました。

しゅう合場しょに行くと、日本人だけではなく、スコットランド人やメキシコ人もいました。外国には色いろなふくがあって、おもしろいなと思いました。

おどりはじめたら、みん

ながえ顔とはく手でおうえんしてくれたので、うれしかったです。おどり終わると、おかしと水をもらい、たくさんの人に「がんばったね」。

とほめてもらえたので、がんばってよかったと思いました。

また来年もおまつりにさんかしたいと思います。

ぼくとテニス

W校　二年一組

中村　礼

ぼくは、テニスがすきです。なぜかというと、テニスボールをおいかけて、うちかえすと気もちがいいからです。

ぼくはこの夏、テニスがもっと上手になりたくて、テニスきょうしつに二週間さんかしました。朝行くと、

テニスコート三めんの回りを三しゅうします。その後体そうをします。体そうを十五分やったら、ボールをうつれんしゅうをします。先生がボールを前後左右に出してくれて、ぼくは左右にはしってうちかえします。それをつづけると、ボールをうつタイミングが合ってきます。

ぼくは、この秋から週一

回、テニスレッスンにかよっています。をのほかに、おとうさんと家の近くのテニスコートでれんしゅうしています。

ぼくの目ひょうは、バックハンドをもっと上手にうてるようになることです。そのために、ボールをラケットのまん中に当てられるようにしゅ気をつけてれんしゅうしたいです。

きょうりゅう大すき

W校　二年　一組

村上　虎大朗

ぼくはきょうりゅうが大すきです。夏に日本に帰った時、図かんを読んで、それからジュラシックワールドのえいがを見て、お友だちときょうりゅうのフィギアであそんですきになりました。ぼくの一ばんすきなのは、毛サウルスです。

12×12

なぜなら、海のハンターみたいで、ぼくと同じでおよぐのがとくいなきょうりゅうだからです。

それから、きょうりゅうの本や図かんをたくさん読んで、きょうりゅうの名前をたくさんおぼえました。

何をたべるとか、けんかのつよいきょうりゅうのこととか、色んなことを知ることができました。

　本で知ったことを、お父さんとお母さんと妹と弟に教えてあげます。そしたら「きょうりゅうはかせみたいだね。」

　とお母さんが言ってくれて、うれしかったです。

　でも、きょうりゅうには、まだまだたくさんのひみつがあります。どうしてぜつめつしてしまったのか、どのようにくらしていたのか、

世界中の学者たちがけんきゅうしているし、考古学者は化石を見つけるために毎日がんばっています。

ぼくも、きょうりゅうの本を読んで、びっくりすることがいっぱいあるし、もっともっとくわしく知りたいと思っています。

ちょうど、ぼくが通っているげん地校のアフタースクールで古生ぶつ学・化石

学があったので、九月からならいはじめました。

大むかしの化石をほるれんしゅうをしてみたり、先生や友だちときょうりゅうの話をしたりするのは、とっても楽しいです。

大きくなったらぼくも、本ものの化石をほってみたいし、もっともっとべんきょうして、きょうりゅうのなぞをときたいです。

12×12

大すきな本

L工校　二年一くみ

田中　さな

わたしは、大すきな本のことを書きます。わたしが大すきな本の名前は、がいけつゾロリシリーズ、こまったさん・わかったさんシリーズです。とくにすきなところは、作しゃがでてくるところです。作しゃは、はらゆたか、てらむらてる

12×12

おです。

なぜ、はらゆたがすき、かというと、かいけつゾロリで、はらゆたがさんが出てくるゾロリへのツッコミや子どもたちへのお知らせなど、おもしろいことを言うからです。

なぜ、てらむらてるおさんすきかというと、わかったさん・こまっ・たさんで、アドバイスをくれるからで

す。たとえば、「ムノクンマークレ」がギマーク「で、りょうりのコツをおしえてくれます。ふつう、ほかの作しゃは出てこないので、ふつうとちがっていいところだと思います。

それから、もう一つすきなところがあります。それは、「おっちょこちょいレなキャラクターです。わかったさんは、わかっていいな

くてもすぐに、
「わかった。」
と言います。こまったさん
は、すぐにこまってばかり
で、おっちょこちょいだと
思います。ゾロリは、すぐ
ゆだんするので、ちょっと
あわてんぼうだと思います。
でもそれをなおして、いい
ことばっかりするキャラク
ターだと、つまらないと思
います。

12×12

わたしは、一人で本を読むとき、もし自分がそのキャラクターだったら、と考えているのでしょう。ゾロリやこまったさんは、自分が考えていることとは、ちがうことを言ったり、したりするので、そこがおもしろいです。これでおわります。

ふじサファリパーク

LI校　二年一組
川上　せな

早くジャングルバスにのりたいな、とわたしは、新かん線の中で思いました。

今年の夏休み、お母さんと弟といっしょに、しずおかけんにあるふじサファリパークに行きました。

サファリパークについたら、ジャングルバスのチケ

ット売り場まで早足で歩きました。わたしは、よかった、チケットが売り切れていなくて、と思いました。どうしてかというと、ジャングルバスは人気があると、お母さんから聞いていたからです。

「キーーーー」。

ライオンの形をしたジャングルバスが入って来ました。わたしは、とてもわくわく

して、早くえさをあげたい気もちでいっぱいでした。

さいしょに、くまにえさをあげました。くまのえさは、りんごとにんじんです。わたしと弟は、えさを大きなはさみではさんで、バスの中からななめ下に出しました。くまがゆっくりと、わたしの方へ歩いてきました。そして、大きな口をあけて、シャリシャリとおい

しそうに食べました。やったあと思いました。

つぎに、メスライオンが近づいてきて、はさみからとり肉をパクリと食べました。その時、きばの先がとがっているのを見ました。きばを近くで見て、ドキッとしました。でも、ライオンの目が、ビー玉のようにまん丸でかわいかったので、こわくありませんでした。

ジャングルバスのうんてんしゅさんから、さい近あつかったので、ライオンがえさを食べなかったと聞きました。だから食べてくれて、テストで百点をとったみたいにうれしかったです。

ジャングルバスのえさやりは、どうぶつがどうやって食べるのか、近くでかんさつできるので、さい高だなと思いました。

12×12

くうがのしゅくだい

L エ 六×二年一組

ハービーいろは

わたしはときどき、おとうとのくうがのしゅくだいをみてあげます。先生みたいにすることは、たのしいです。わたしが先生で、くうがは生とです。教える時にむずかしいところは、くうがいつもわそんで、わたしの言うことを聞きません

ん。日に入るおもちゃをもって、すぐにあそんでしまいます。もし、くうがのてからおもちゃをとると、ないてしまいます。

「アイスクリームをあげるよ。」

「テレビをみせないよ。」

と言うと、くうがわたしと言うと、くうがはわたしの言うことを聞きます。くうがは、アイスクリームとテレビが大すきだからです。

ひらがなでくうがの名前の書き方を教えました。くうがは名前を書けませんでした。ぐちゃぐちゃて、しゅくだいの紙にかきましたら、これから、何回もていねいに教えてくうがが学校で先生の言うことが分かるようにしてあげたいです。